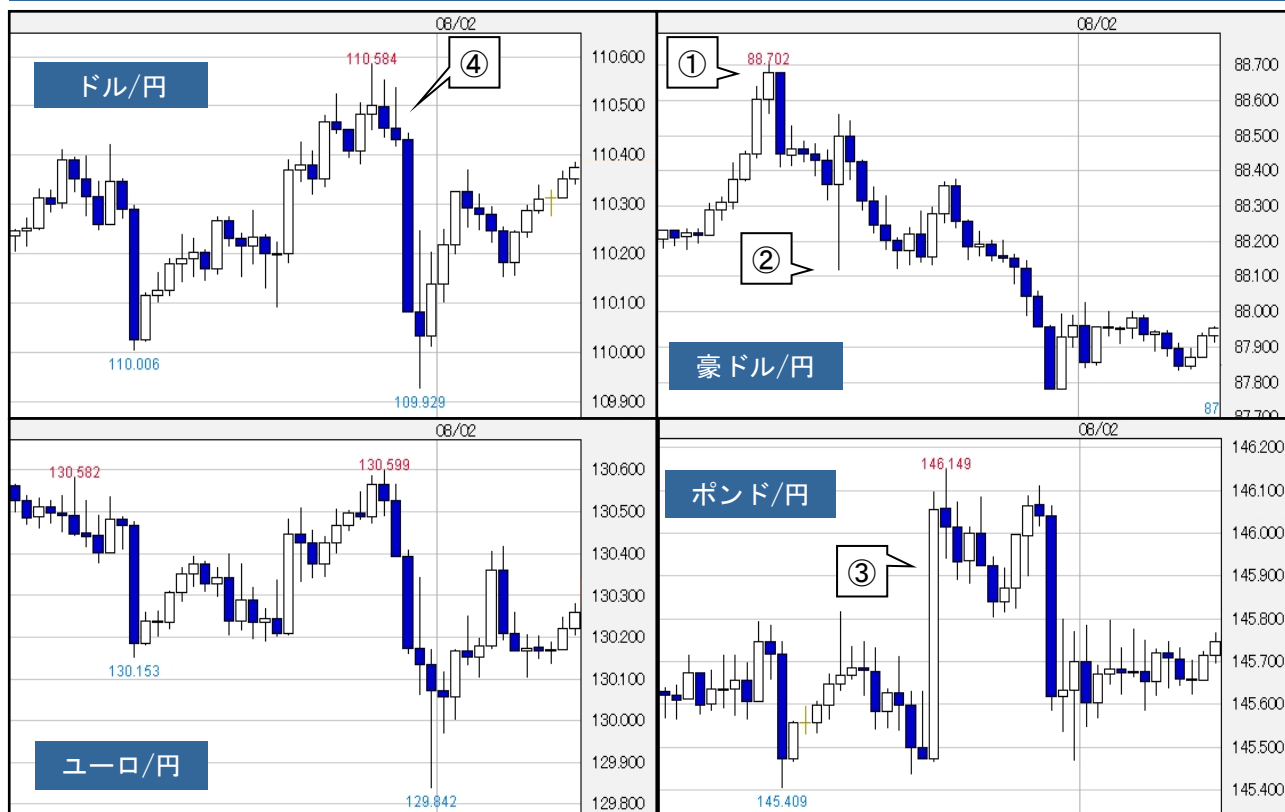


8月2日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、52週移動平均線がカギに

1日(火)の為替相場



期間：1日(火)午前6時10分～2日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 中国7月財新/製造業PMIが予想(50.4)を上回る51.1となり、豪ドル/円は88.70円前後まで上昇した。
- ② 豪準備銀行(RBA)は事前予想通り政策金利の据え置き(1.50%)を決定。声明文で「低水準の政策金利が豪経済を支えている」との見方が示されたことから豪ドルが売られるも一時的であった。なお、声明文では「最近のインフレ指標は中銀の予想に概ね沿っている」「インフレは経済が強まるにつれて徐々に上昇していくと予想」「予測の中央値は今後数年間、経済は年率3%程度の成長になる」などの見方も示された。
- ③ 英7月製造業PMIが55.1と予想(54.5)を上回った。これを受けてポンド買いが優勢となった。なお、ユーロ圏4-6月期国内総生産(GDP)は事前予想通り前期比+0.6%、前年比+2.1%であった。
- ④ 米7月自動車販売が前月比-7.4%と予想(-5.5%)を下回ったことから、米個人消費への影響が懸念されて米10年債利回りが急低下すると、ドル売りが活発化。米7月ISM製造業景況指数が56.3、米6月建設支出も前月比-1.3%と、いずれも予想(56.4、+0.4%)を下回ったことから、ドル/円は一時109.90円台まで下落した。

1日(火)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19985.79 (△60.61)	5772.372 (△51.781)	3292.638 (△19.610)	7423.66 (△51.66)	12251.29 (△133.04)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21963.92 (△72.80)	0.0780% (▼0.0050)	2.714% (△0.036%)	1.213% (▼0.017)	0.491% (▼0.052)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3411% (▼0.0080)	2.2532% (▼0.0410)	49.16 (▼1.01)	1279.40 (△6.00)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	109.500-111.100	129.400-131.200	87.200-88.500	144.800-146.800

【ドル/円】

昨日のドル/円は、節目の110円ちょうどを割り込むなど、一時ドル安の流れが強まる場面があった。注目された米6月PCEデフレーターや米7月ISM製造業景況指数は予想の範囲内の結果であったが、米7月自動車販売が振るわず米国債利回りが低下した事が重しとなった。ただ、NYダウ平均が5営業日連続で史上最高値を更新するなどリスク選好的な市場環境の中、下値では買いが入り、110.30円台に戻して日足陽線引けとなった。長期サポートの52週移動平均線にタッチして小反発したこの動きが、ひとまず底入れなのか、単なる下げ一服に過ぎないのかを見極める上で、本日の展開が重要になりそうだ。もともと、底入れムード醸成のためのハードルはかなり高い。少なくとも111.00円台にある一目均衡表の雲や転換線を上抜ける必要がある。仮に、再び52週移動平均線(執筆時110.085円)を下抜けるようだと下値追求ムードも再燃する可能性がある。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/2(水)	10:30		(豪) 6月住宅建設許可(前月比)	-5.6%	+1.0%
	17:30	○	(英) 7月建設業PMI	54.8	54.0
	18:00		(ユーロ圏) 6月生産者物価指数(前年比)	+3.3%	+2.5%
	21:15	◎	(米) 7月ADP全国雇用者数	+15.8万人	+19.0万人
	23:30	○	(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
	24:00		(米) メスター・クリーブランド連銀総裁、講演	—	—
	28:30		(米) ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、講演	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com